

平成 23 年度ホタテガイ採苗情報（第 5 報）

平成 23 年 6 月 17 日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



稚貝の付着が継続

< 調査結果の概要 >

- ラーバは県中部で大型個体が多数出現。
 - 唐丹湾の水深 10m 層の水温は 10.7℃と、例年よりやや低め。
 - 付着稚貝数は県中部で大幅に増加。付着は継続。
- < 陸奥湾の状況：これまでの付着はかなり少なめ（6月16日発行青森県採苗速報） >
- ラーバの出現数は全湾平均で 1,104 個/m³。大型個体が多数出現。
 - 試験採苗器の付着稚貝数は 96~12,672 個/袋（7日間）と増加。付着は継続。
- < 噴火湾の状況：採苗器の全投入を指示（6月13日発行噴火湾情報） >
- 沖合のラーバは中～大型個体に主体が移行し、1,209 個/m³と高密度で分布。
 - 採苗器の付着稚貝数は 1,300~41,600 個/袋/週と、急増。

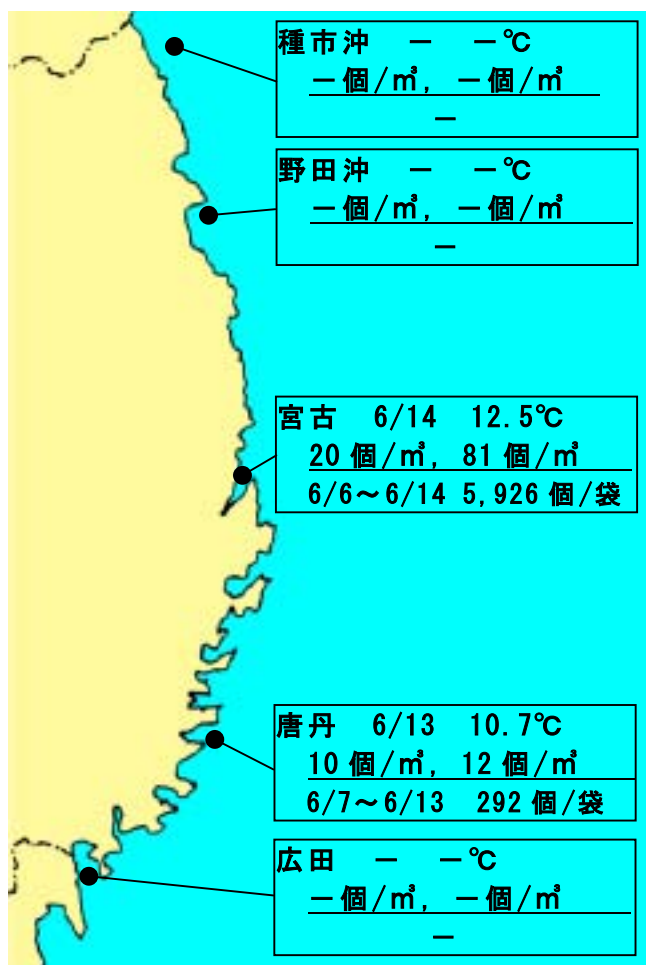


図 1 各定点の調査結果

調査点	調査日	10m層水温
ラーバ出現数 (200μ未満、200μ以上)		
試験採苗器垂下期間		付着稚貝数

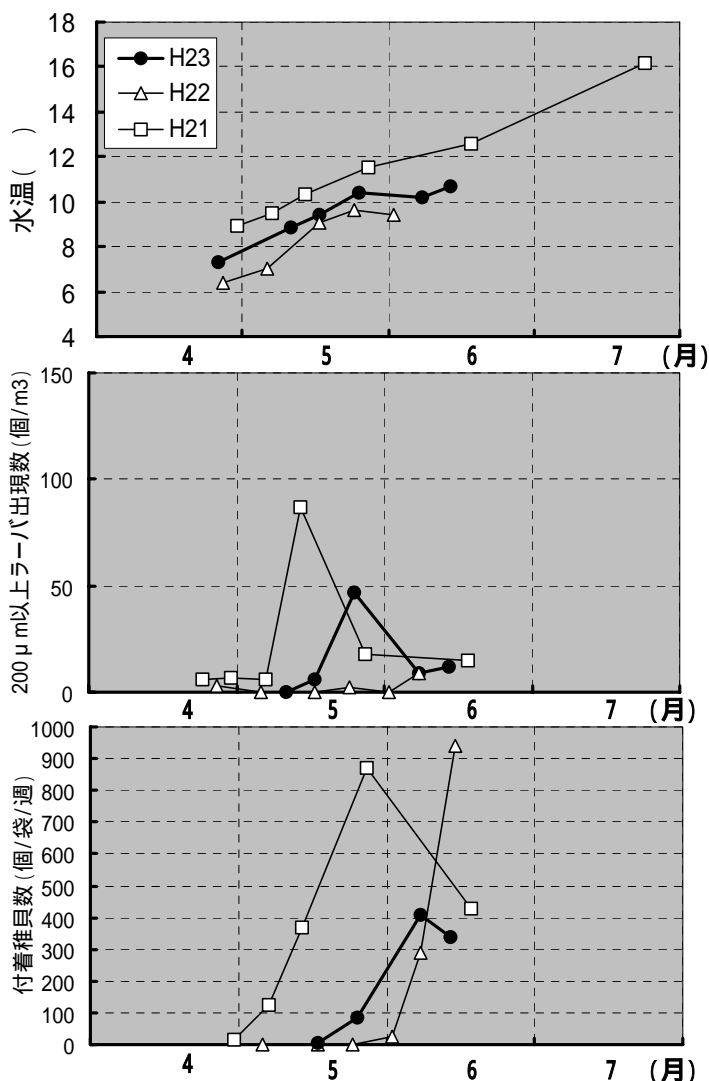


図 2 唐丹湾における水深 10m 層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、6月24日に発行する予定です。